

令和2年度 医学科授業及び行事日程

1. 授業

1年次	新入生ガイダンス	4月 1日(水) ~ 4月 2日(木)	(2D)
	新医学研究コース説明会	4月 3日(金) 14:00 ~	(1D)
	前期授業期間	4月 7日(火) ~ 8月 5日(火)	(16W)
		※4/29(水・祝)水曜日の授業実施日, 5/21(木)月曜日の授業実施日, 7/13(月)金曜日の授業実施日, 7/14(火)木曜日の授業実施日	
	(定期試験) 【Q1】	5月29日(金) ~ 6月 4日(木)	(1W)
		※6/5(金)授業・定期試験の予備日	
	【Q2】	7月29日(水) ~ 8月 4日(火)	(1W)
		※8/5(水)授業・定期試験の予備日	
	[セメスター]	7月31日(金)	(1D)
	全学共通授業科目再試験	9月 1日(火) / 9月 2日(水)	(2D)
		※9/3(木)再試験の予備日	
	夏休み	8月 6日(木) ~ 9月 6日(日)	(4W)
	初期体験臨床実習	9月14日(月) ~ 9月18日(金)	(1W)
	地域医療学	9月30日(水)	(1D)
	後期授業期間	10月 1日(木) ~ 2月 5日(金)	(16W)
		※11/12(木)火曜日の授業実施日, 1/5(火)月曜日の授業実施日, 1/13(水)月曜日の授業実施日, 1/21(木)金曜日午後の授業実施日	
	冬休み	12月26日(土) ~ 1月 4日(月)	(1W)
	(定期試験) 【Q3】	11月20日(金) ~ 11月30日(月)	(1W)
		※11/27(金)授業・定期試験の予備日	
	【Q4】	1月29日(金) ~ 2月 4日(木)	(1W)
		※2/5(金)授業・定期試験の予備日	
	[セメスター]	1月29日(金)	(1D)
	専門科目再試験	2月15日(月) ~ 2月19日(金)	(1W)
	全学共通授業科目再試験	3月 3日(水) / 3月 4日(木)	(2D)
		※3/5(金)授業・定期試験の予備日	
2年次	ガイダンス	4月 3日(金) 9:30 ~	(1D)
	前期授業	4月 6日(月) ~ 7月17日(金)	(15W)
		※4/29(水)水曜日の授業実施日	
	定期試験	7月20日(月) ~ 7月31日(金)	(2W)
	夏休み	8月 1日(土) ~ 9月27日(日)	(8W)
	早期臨床実習1	9月28日(月) ~ 10月 2日(金)	(1W)
	後期授業	10月 5日(月) ~ 2月 1日(月)	(16W)
	冬休み	12月26日(土) ~ 1月 4日(月)	(1W)
	定期試験	2月 2日(火) ~ 2月12日(金)	(2W)
	再試験	2月22日(月) ~ 3月 5日(金)	(2W)
3年次	ガイダンス	4月 3日(金) 16:00 ~	(1D)
	前期授業	4月 6日(月) ~ 7月31日(金)	(17W)
		※4/29(水)水曜日の授業実施日	
	夏休み	8月 1日(土) ~ 9月 6日(日)	(5W)
	定期試験	9月 7日(月) ~ 9月18日(金)	(2W)
	後期授業	10月 1日(木) ~ 2月15日(月)	(18W)

早期臨床実習 2	10月26日(月)～10月30日(金)	(1W)
冬休み	12月24日(木)～1月4日(月)	(2W)
定期試験	2月16日(火)～2月19日(金)	(1W)
再試験	2月22日(月)～3月5日(金)	(2W)
4年次 ガイダンス	4月3日(金) 14:00～	(1D)
臨床医学講義3(ユニット3)	4月6日(月)～6月1日(月)	(7W)
臨床医学講義3(ユニット4)	6月2日(火)～7月16日(木)	(6W)
症候別チュートリアル	7月17日(金)～7月30日(木)	(2W)
夏休み	8月1日(土)～8月23日(日)	(4W)
症候別チュートリアル	8月24日(月)～10月15日(木)	(7W)
CBT(共用試験)	10月22日(木)(予定)	(1D)
臨床医学基本実習	10月26日(月)～12月11日(金)	(6W)
IPW関連セミナー	11月24日(火)	(1D)
IPWチュートリアル	11月30日(月)～12月4日(金)	(1W)
OSCE(共用試験)	12月13日(日)(予定)	(1D)
冬休み	12月26日(土)～1月3日(日)	(2W)
地域社会医学実習	1月5日(火)～1月14日(木)	(2W)
白衣式	1月4日(月)(予定)	(1D)
BSL	1月18日(月)～3月12日(金)	(8W)
5年次 臨床配属実習	4月6日(月)～5月1日(金)	(4W)
(学内BSL)	5月11日(月)～7月31日(金)	(12W)
	8月31日(月)～11月20日(金)	(12W)
夏休み	8月1日(土)～8月30日(日)	(4W)
冬休み	12月26日(土)～1月10日(日)	(2W)
科目別試験	12月7日(月)～12月25日(金)	(3W)
関連病院実習	1月12日(火)～3月5日(金)	(8W)
科目別試験再試験	3月8日(月)～3月19日(金)	(2W)
6年次 個別計画実習	4月6日(月)～5月22日(金)	(7W)
	6月8日(月)～7月24日(金)	(7W)
	9月7日(月)～10月16日(金)	(7W)
個別計画実習発表会	10月23日(金)	
全人医学・ユニオンレクチャー	5月25日(月)～6月5日(金)	(2W)
夏休み	7月27日(月)～9月6日(日)	(6W)
卒業時OSCE	11月1日(日)	
卒業時OSCE再試験	12月22日(火)(予定)	
卒業試験	11月11日(水)～11月12日(木)	
卒業試験再試験	12月9日(水)	
医師国家試験説明会	10月下旬	
医師国家試験	2月中旬	

2. 行事

令和2年	4月3日(金)	入学式
	4月6日(月)	新入生健康診断
	6月5日(金)	学生(大学院生を含む)定期健康診断
	11月11日(水)	解剖体慰霊祭
令和3年	3月25日(木)	学位記授与式(卒業式)

シ ラ バ ス

(4 年次用)

平成29年度入学者 授業配当表

授業科目の区分等	授業科目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教養科目 (選択必修)		4	4											
総合教養科目 (選択必修)		4	4											
外国語科目 (必修)	英語	4	4											
	独・仏・中・露語のいずれか1言語	4	4											
情報科目(必修)	情報基礎	1	1											
高度教養科目 (4単位を選択必修)	英語アドバンスド・コース(1)	1			1									
	英語アドバンスド・コース(2)	1			1									
	英語アドバンスド・コース(3)	1					1							
	英語アドバンスド・コース(4)	1					1							
	地域医療システム学	2			2									
	臨床研究システム論	1					1							
	医学史と医学概論	2					2							
専 門 科 目	転換教育科目 (必修)	初年次セミナー	1	1										
		初期体験臨床実習	1	1										
		現代医療と生命倫理	2	2										
		医学序説	2	2										
		細胞生物学1	2	2										
		細胞生物学2	2		2									
		医学英語1	1			1								
		医学英語2	1			1								
		医学英語3	1					1						
		医学英語4	1					1						
	共通専門 基礎科目 (必修)	心と行動	2	2*										
		微分積分1	1	1*										
		微分積分2	1	1										
		微分積分3	1		1*									
		微分積分4	1		1									
		物理学入門	1	1*										
		力学基礎1	1	1*										
		力学基礎2	1	1										
		電磁気学基礎1	1		1*									
		電磁気学基礎2	1		1									
		連続体力学基礎	1		1*									
		熱力学基礎	1		1									
		基礎物理化学1	1	1*										
		基礎物理化学2	1	1										
		基礎有機化学1	1		1*									
		基礎有機化学2	1		1									
		生物学各論E1	1	1*										
		生物学各論E2	1	1										

授業科目の区分等		授業科目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目	基礎医学 (必修)	解剖学	6			6									
		組織学	3			3									
		生化学	4			4									
		生理学	5				5								
		情報科学	3				3								
		微生物学・免疫学	4				4								
		病理学	5				5								
		公衆衛生学	3					3							
		法医学	2					2							
		発生学	1			1									
	基礎・臨床 融合科目 (必修)	イメージング	1			1									
		臨床遺伝学	1				1								
		薬理学および臨床薬理学	4					4							
	臨床医学 チュートリアル (必修)	臨床医学講義1	8					8							
		臨床医学講義2	4					4							
		臨床医学講義3	14						14						
		症候別チュートリアル	4							4					
		IPW	1							1					
	総合医学 (必修)	地域医療学	1	1											
		臨床医学総論(内科学・外科学)	2					2							
		診断学総論	3					3							
		全人医学・ユニオンレクチャー	1											1	
	総合実習 (必修)	基礎配属実習1	4				4								
		早期臨床実習1	1			1									
		早期臨床実習2	1					1							
		地域社会医学実習	1							1					
		臨床医学基本実習	2							2					
		ベッドサイドラーニング	36								36				
		個別計画実習	18											18	
		関連病院実習	4										4		
	その他の科目	新医学研究コース	2	2											
	選択科目	医学研究(1)	4					4							
		医学研究(2)	4						4						
		医学研究(3)	4									4			
		医学研究(4)	4											4	
		基礎配属実習2	1				1								

卒業必要単位数 200 単位

注：共通専門基礎科目において前期に「＊」を付している授業科目は、第1クォーターに開講し、付していない授業科目は、第2クォーターに開講する。

また、後期に「＊」を付している授業科目は、第3クォーターに開講し、付していない授業科目は、第4クォーターに開講する。

令和2年度 4年次授業カレンダー

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名	日	曜	科目名				
1	水	春休み	1	金	臨床医学講義3 ユニット3	1	月	臨床医学講義3 ユニット3	1	水	臨床医学講義3 ユニット4	1	土		1	火	症候⑧	1	木	症候⑯	1	日		1	火	IPW	1	金		1	月	BSL3	1	月	BSL7	
2	木		2	土		2	火	臨床医学講義3 ユニット4	2	木	臨床医学講義3 ユニット4	2	日		2	水	症候⑧	2	金	予備日	2	月	基本実習	2	水	IPW	2	土		2	火	BSL3	2	火	BSL7	
3	金	ガイダンス	3	日	祝日	3	水	臨床医学講義3 ユニット4	3	金	予備日 (大学院入試)	3	月	夏休み	3	木	症候⑨	3	土		3	火	祝日	3	木	IPW	3	日		3	水	BSL3	3	水	BSL7	
4	土		4	月	祝日	4	木	臨床医学講義3 ユニット4	4	土		4	火		4	金	症候⑨	4	日		4	水	基本実習	4	金	IPW	4	月	白衣式 BSLガイダンス	4	木	BSL3	4	木	BSL7	
5	日		5	火	祝日	5	金	臨床医学講義3 ユニット4	5	日		5	水		5	土		5	月	症候⑪	5	木	基本実習	5	土		5	火	地域社会医学実習	5	金	BSL3	5	金	BSL7	
6	月	臨床医学講義3 ユニット3	6	水	祝日	6	土		6	月	臨床医学講義3 ユニット4	6	木		6	日		6	火	症候⑪	6	金	基本実習	6	日		6	水	地域社会医学実習	6	土		6	土		
7	火	臨床医学講義3 ユニット3	7	木	臨床医学講義3 ユニット3	7	日		7	火	臨床医学講義3 ユニット4	7	金		7	月	症候⑩	7	水	症候⑯	7	土		7	月	基本実習	7	木	地域社会医学実習	7	日		7	日		
8	水	臨床医学講義3 ユニット3	8	金	臨床医学講義3 ユニット3	8	月	臨床医学講義3 ユニット4	8	水	臨床医学講義3 ユニット4	8	土		8	火	症候⑩	8	木	症候⑯	8	日		8	火	基本実習	8	金	地域社会医学実習	8	月	BSL4	8	月	BSL8	
9	木	臨床医学講義3 ユニット3	9	土		9	火	臨床医学講義3 ユニット4	9	木	臨床医学講義3 ユニット4	9	日	夏休み	9	水	症候⑪	9	金	予備日	9	月	基本実習	9	水	基本実習	9	土		9	火	BSL4	9	火	BSL8	
10	金	臨床医学講義3 ユニット3	10	日		10	水	臨床医学講義3 ユニット4	10	金	臨床医学講義3 ユニット4	10	月		10	木	症候⑪	10	土		10	火	基本実習	10	木	基本実習	10	日		10	水	BSL4	10	水	BSL8	
11	土		11	月	臨床医学講義3 ユニット3	11	木	臨床医学講義3 ユニット4	11	土		11	火		11	金	症候⑫	11	日		11	水	基本実習	11	金	基本実習 OSCE準備	11	月	祝日	11	木	祝日	11	木	BSL8	
12	日		12	火	臨床医学講義3 ユニット3	12	金	臨床医学講義3 ユニット4	12	日		12	水		12	土		12	月	症候⑲	12	木	基本実習	12	土	OSCE準備	12	火	地域社会医学実習	12	金	BSL4	12	金	BSL8	
13	月	臨床医学講義3 ユニット3	13	水	臨床医学講義3 ユニット3	13	土		13	月	臨床医学講義3 ユニット4	13	木		13	日		13	火	症候⑲	13	金	基本実習	13	日	OSCE本番	13	水	地域社会医学実習	13	土		13	土		
14	火	臨床医学講義3 ユニット3	14	木	臨床医学講義3 ユニット3	14	日		14	火	臨床医学講義3 ユニット4	14	金		14	月	症候⑫	14	水	症候⑳	14	土		14	月	予備日	14	木	地域社会医学実習	14	日		14	日		
15	水	臨床医学講義3 ユニット3	15	金	臨床医学講義3 ユニット3	15	月	臨床医学講義3 ユニット4	15	水	臨床医学講義3 ユニット4	15	土	夏休み	15	火	症候⑬	15	木	症候㉑ CBT・OSCE説明会	15	日		15	火	予備日	15	金	予備日	15	月	BSL5	15	月	春休み	
16	木	臨床医学講義3 ユニット3	16	土		16	火	臨床医学講義3 ユニット4	16	木	臨床医学講義3 ユニット4	16	日		16	水	症候⑬	16	金	どこかでCBT予行	16	月	基本実習	16	水	予備日	16	土		16	火	BSL5	16	火		
17	金	臨床医学講義3 ユニット3	17	日		17	水	臨床医学講義3 ユニット4	17	金	症候別チュートリアル 症候①	17	月		17	木	症候⑭	17	土		17	火	基本実習	17	木	CBT再試験	17	日		17	水	BSL5	17	水		
18	土		18	月	臨床医学講義3 ユニット3	18	木	臨床医学講義3 ユニット4	18	土		18	火		18	金	症候⑭	18	日		18	水	基本実習	18	金	予備日	18	月	BSL1	18	木	BSL5	18	木		
19	日		19	火	臨床医学講義3 ユニット3	19	金	臨床医学講義3 ユニット4	19	日		19	水	夏休み	19	土		19	月	どこかでCBT予行	19	木	基本実習	19	土		19	火	BSL1	19	金	BSL5	19	金	祝日	
20	月	臨床医学講義3 ユニット3	20	水	臨床医学講義3 ユニット3	20	土		20	月	症候①	20	木		20	日		20	火	どこかでCBT予行	20	金	基本実習	20	日		20	水	BSL1	20	土		20	土		
21	火	臨床医学講義3 ユニット3	21	木	臨床医学講義3 ユニット3	21	日		21	火	症候②	21	金		21	月	祝日	21	水	どこかでCBT予行	21	土		21	月	OSCE 結果発表	21	木	BSL1	21	日		21	日		
22	水	臨床医学講義3 ユニット3	22	金	臨床医学講義3 ユニット3	22	月	臨床医学講義3 ユニット4	22	水	症候②	22	土		22	火	祝日	22	木	CBT本番	22	日		22	火	OSCE補講	22	金	BSL1	22	月	BSL6	22	月	春休み	
23	木	臨床医学講義3 ユニット3	23	土		23	火	臨床医学講義3 ユニット4	23	木	祝日	23	日	23	水	症候⑮	23	金	予備日	23	月	祝日	23	水	OSCE補講	23	土		23	火	祝日	23	火			
24	金	臨床医学講義3 ユニット3	24	日		24	水	臨床医学講義3 ユニット4	24	金	祝日	24	月	症候⑤	24	木	症候⑮	24	土		24	火	IPW関連講義(ワークライブ バランスセミナー)	24	木	OSCE補講	24	日		24	水	BSL6	24	水		
25	土		25	月	臨床医学講義3 ユニット3	25	木	臨床医学講義3 ユニット4	25	土		25	火	症候⑤	25	金	予備日	25	日		25	水	基本実習	25	金	OSCE補講	25	月	BSL2	25	木	個別入試のための立入禁止	25	木		
26	日		26	火	臨床医学講義3 ユニット3	26	金	臨床医学講義3 ユニット4	26	日		26	水	症候⑥	26	土		26	月	基本実習 ガイダンス	26	木	基本実習	26	土		26	火	BSL2	26	金	BSL6	26	金	春休み	
27	月	臨床医学講義3 ユニット3	27	水	臨床医学講義3 ユニット3	27	土		27	月	症候③	27	木	症候⑥	27	日		27	火	基本実習	27	金	基本実習	27	日		27	水	BSL2	27	土		27	土		
28	火	臨床医学講義3 ユニット3	28	木	臨床医学講義3 ユニット3	28	日		28	火	症候③	28	金	症候⑦	28	月	予備日	28	水	基本実習	28	土		28	月	冬休み	28	木	BSL2	/	/	28	日		28	日
29	水	祝日	29	金	臨床医学講義3 ユニット3	29	月	臨床医学講義3 ユニット4	29	水	症候④	29	土	症候⑦	29	火	症候⑯	29	木	基本実習	29	日		29	火		29	金	BSL2			29	月		29	月
30	木	臨床医学講義3 ユニット3	30	土		30	火	臨床医学講義3 ユニット4	30	木	症候④	30	日	症候⑦	30	水	予備日	30	金	基本実習	30	月	IPW	30	水		30	土				30	火		30	火
			31	日					31	金	予備日	31	月	症候⑦				31	土					31	木		31	日				31	水		31	水

※症候別チュートリアルの一環として、英語のテストを9月の中旬及び10月の中旬に実施します(予定)

(平成16年4月14日 医学科会議決定)

4年次チュートリアル授業及び4・5年次BSL授業における 欠席の取り扱いに関する申合せ

1. 4年次チュートリアル授業の欠席について

チュートリアル授業は、連続して約2週間の欠席が2回以内であれば進級を認めることがある。(急性の重い病気及び不慮の事故等のやむを得ない理由を含む。)

2. 4・5年次BSL授業の欠席について

BSL授業は、連続して約3週間以内の欠席であれば進級を認めることがある。
(急性の重い病気及び不慮の事故等のやむを得ない理由を含む。)

3. 欠席届に添付する診断書の処理について

学生は、欠席届及び診断書の本紙を学務課に提出し、学務課から欠席届及び診断書のコピーを欠席する当該サブユニットの教授及び教務担当教員に送付する。

なお、病気以外の理由で診断書を提出できない場合は、診断書の代わりとして理由書を提出する。

科目名：臨床医学講義3（14単位）

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	地域社会医学・健康科学講座（医学教育学分野） 特命教授 河野 誠司
	連絡方法	TEL: 078-382-6599 E-mail: sjkawano@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	別途掲示する時間割に記載する。
授業のテーマ	クリニカルクラークシップを行うために、必要な臨床的知識や思考法の包括的な習得をめざす。	
授業の到達目標	それぞれの臨床医学分野について系統的に学習するが、一般的な学習到達目標としては、以下である。 1) 基礎医学の知識に基づき、疾患の原因と病態生理を理解する。 2) 疾患の病態生理への理解を踏まえて、疾患の診断・治療・予防について理解し、それらの医学的プロセスに必要な検査法・医療技術について理解する。 3) 臨床医学の系統的学習を通して、医学的思考法を身につける。	
授業の概要と計画	基本的に臓器別の系統講義形式で行われる。ただし、必要に応じて、講義形式に拘らず、実習形式・双方向性授業・小グループ学習なども取り入れる。 以下の臓器別の系統講義を行う。 (1) 循環器（循環器内科学・心臓血管外科学）、(2) 消化器（消化器内科学、肝胆膵外科学・食道胃腸外科学、乳腺・内分泌外科学）、(3) 呼吸器（呼吸器内科学、呼吸器外科学）、(4) 精神・神経（神経内科学、脳神経外科学、精神神経科学）、(5) 糖尿病・内分泌内科学、(6) 腎・泌尿器（腎臓内科学、泌尿器科学）、(7) 感染症内科学、(8) 免疫・臨床検査（免疫内科学、臨床検査医学（9）腫瘍・血液（腫瘍・血液内科学、緩和治療医学）、(10) 災害救急医学、(11) 放射線医学、(12) 小児（小児科学、小児外科学）、(13) 産婦人科学、(14) 整形外科（整形外科、リハビリテーション医学）、(15) 麻酔科学、(16) 皮膚科学、(17) 眼科学、(18) 耳鼻・形成・口腔（耳鼻科学、形成外科学、口腔外科学）、 具体的な講義内容は未定。後日別途配布。	
成績評価方法	授業取り組み状況（30点）並びに小テスト、最終授業時の筆記試験（70点）の合計100点で評価を行う。 各診療科は別紙のユニット1～4のいずれかに所属しており、ユニット単位で可否判定を行う。ユニット内の診療科の平均点数が60点未満の学生は不合格となる。 不合格者への再試験は行わない。	
成績評価基準	1) 基礎医学の知識に基づき、疾患の原因と病態生理を理解しているか。 2) 疾患の病態生理への理解を踏まえて、疾患の診断・治療・予防について理解し、それらの医学的プロセスに必要な検査法・医療技術について理解しているか。 3) 臨床医学の系統的学習を通して、医学的思考法を身につけているか。	
履修上の注意 (関連科目情報)	特になし	
事前・事後学修	自主学習を行い、幅広い知識を身につけておくこと。	
オフィスアワー・連絡先	講義の前後もしくはサブユニット試験終了後に、各講義の担当教員が質問を受け付けます。掲示する時間割を参照してください。	
教科書	必要ある場合は、個別にお知らせします。	
参考書・参考資料等	特になし	
授業における使用言語	日本語	

令和2年度4年次臨床医学講義3 ユニット一覧

科目名	ユニット	ユニット責任者	担当科	講義期間	
臨床医学講義3	ユニット3	腫瘍・血液内科 教授 南 博信	感染症内科	4/6～	4/10
			産科婦人科	4/13～	4/20
			歯科口腔外科	4/21～	4/24
			膠原病リウマチ内科 臨床検査医学	4/27～	5/8
			腫瘍血液内科 先端緩和医療学	5/11～	5/25
			脳神経外科	5/26～	6/1
	ユニット4	耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授 丹生 健一	形成外科	6/2～	6/4
			麻酔科	6/8～	6/12
			地域医療	6/15～	6/18
			耳鼻咽喉・頭頸部外科	6/19～	6/24
			皮膚科	6/25～	7/1
			小児科 小児外科	7/2～	7/9
			眼科	7/10～	7/16

科目名：症候別チュートリアル（4単位）

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	地域社会医学・健康科学講座（医学教育学分野） 特命教授 河野 誠司
	連絡方法	TEL：078-382-6599 E-mail:sjkawano@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	症候ごとに配布するガイドブックに記載する。
授業のテーマ	チュートリアルは少人数グループ学習にて行う。臨床症例を課題とし、教養教育・基礎医学・診断学総論・臨床医学総論・臨床医学講義1・2・3で学修したことを踏まえて、症例から具体的に学修課題を抽出し、グループディスカッションを通じて、症例の問題解決を図る。提示される臨床課題をいかに取り扱うか戸惑うことがあるかもしれないが、素材はチュートリアル用に工夫されているので、これまでの知識を生かせば臨床的な問題点を把握し学習することができる。チュートリアルは、能動的に参加することが求められ、積極的な取り組みにより、臨床医学の学修方法が身につけるのみでなく、臨床推論能力、基礎医学知識の応用展開能力、課題に関連した臨床的知識の深い理解、臨床医学や基礎医学における未解決点問題を自ら見出す能力を養う。	
授業の到達目標	1）症候を中心として問題を発見して自から解決する過程を学び、生涯使える能動的学習方法を身につける。 2）基本的な20症候（*）について、臓器別に偏らない診断的アプローチを何度も積み重ねることにより、幅広い臨床推論能力を身につける。 3）小グループ学習などの過程を通じて、議論の進め方や共同作業のノウハウを身につける。 *20症候：（1）ショック、（2）発熱、（3）けいれん、（4）意識障害・失神、（5）肥満・やせ、（6）リンパ節腫脹、（7）浮腫、（8）胸痛、（9）呼吸困難、（10）咳・痰・血痰・喀血、（11）めまい、（12）頭痛、（13）運動麻痺・筋力低下、（14）腹痛、（15）嚥下困難、（16）吐血・下血、（17）腹部膨隆・腫瘍・黄疸、（18）関節痛・関節腫脹、（19）腰背部痛、（20）小児疾患 （予定であり、変更の可能性があります） 4）英語テキストにより（Symptom to Diagnosis）を用いた臨床推論の基礎を学習する。	
授業の概要と計画	学生は、提示された症例における課題を抽出するとともに、問題点や疑問点について少人数の集団によるディスカッションを行う。そして、疑問点を解決するためにどのように自己学習すればよいかを話し合う。その抽出した問題点を解決するために必要な教科書、関連図書、マルチメディア教材などを使って自学自習すると同時に、課題に関連の深い講義とケーススタディー、さらに学生が自ら学ぶことの難しい最新の知識に関する講義を受講する。また、チュートリアル授業に引き続いてグループ学習や自学自習時間が十分に与えられる。 午前のチュートリアルの時間では、症例シートが与えられ問題点の抽出や学習課題の設定を行う。自学自習やグループ学習の後、学生は自習してきた事柄やグループ討論の内容を全体討論の中で発表し、ディスカッションの中で自分たちの疑問点を解決していく。また、同時に症例に関する追加データが与えられ、全体討論の中で、次のステップの問題点に取り組む。 ◎チュートリアル教育の特徴 ①小集団によるグループダイナミクスを活用する少人数教育である。 ②学生が主体となる能動的参加型授業である。 ③問題準拠学習である。 ④自学自習教育である。 ⑤統合的・学際的な教育である。 詳細な時間割や講義内容・学習到達目標等については症候ごとに配布するガイドブックに記載する。	
成績評価方法	①各症候ユニットの評価の配点は、原則として次のとおりとする。 ・チューターによる学生評価 60点 ・サブユニット試験（ポストテスト） 40点 （※プレテストは、事前学習を促すために行うもので、成績評価に入りません。） ② Symptom to Diagnosisの課題範囲から、2回の筆記試験を行う。 20の症候ユニットの総合評価とSymptom to Diagnosis筆記試験成績を総合して、100点満点に換算する。60点以上を合格とする。評価の算定において、端数が出てきた場合は、小数点第1位を切り捨てる。	

成績評価基準	1) 症候を中心として問題を発見して自から解決する過程を学び、生涯使える能動的学習方法を身につけたか。 2) 基本的な20症候について、臓器別に偏らない診断的アプローチを何度も積み重ねることにより、幅広い臨床推論能力を身につけたか。 3) 小グループ学習などの過程を通じて、議論の進め方や共同作業のノウハウを身につけたか。 4) 英語を用いて基本的な臨床推論ができる。
履修上の注意 (関連科目情報)	1, ユニットの評価は、チュートリアル授業（一部のサブユニットで実施する実習を含む）への参加が基本的条件であり、無届け欠席は、ユニット評価において原則として「不合格」の対象となる。課外活動による欠席は認めない。 2, チュートリアル授業（実習及びユニット試験を含む）を欠席する場合は、欠席届を事前に学務課に提出しなければならない。ただし、疾病その他の理由により事前に提出できない場合は、学務課に電話連絡の上、翌日中に理由書（診断書等）を添付した欠席届を提出する。提出がない場合は無届け欠席として取り扱う。 3, ユニット試験を欠席した場合は、ユニット責任者が特別の理由があると認めた場合のみ翌週中に追試験を行う。
事前・事後学修	症候ごとにプレテストを実施するので、理解が不十分な部分を確認し、予習及び復習を行ってからチュートリアルに臨むこと。
オフィスアワー・連絡先	午後の講義の前後もしくはサブユニット試験終了後に、各症候の担当教員が質問を受け付けます。サブユニットガイドを参照してください。
学生へのメッセージ	症候別チュートリアルは、臨床推論力を身につける絶好の機会です。症候別チュートリアルでは、いますのでい医学教育モデルコアカリキュラムの学ぶべき主な症候・病態（CBT出題範囲）を網羅していますので、積極的に取り組んでください。
今年度の工夫	
教科書	チュートリアル室に関連図書を配置。 Symptom to Diagnosis (4th edition, McGraw Hill)
参考書・参考資料等	
授業における使用言語	日本語・英語
キーワード	
参考URL	

科目名：臨床医学基本実習（2単位）

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	地域社会医学・健康科学講座（医学教育学分野） 特命教授 河野 誠司
	連絡方法	TEL: 078-382-6599 E-mail: sjkawano@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	附属病院感染制御部 特命教授 宮良 高維
	役 職 氏 名	附属病院医療の質・安全管理部 特命教授 小林 和幸
	役 職 氏 名	外科系講座 産科婦人科学分野 特命教授 出口 雅士
	役 職 氏 名	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野 准教授 井之口 豪
	役 職 氏 名	内科学講座 循環器内科学分野 准教授 山下 智也
	役 職 氏 名	外科系講座 災害・救急医学分野 准教授 山田 勇
	役 職 氏 名	内科学講座 消化器内科学分野 特命准教授 森田 圭紀
	役 職 氏 名	内科学講座 脳神経内科学分野 助教 千原 典夫
	役 職 氏 名	内科学分野 臨床検査医学分野 特定助教 岡野 隆一
	役 職 氏 名	外科系講座 腎泌尿器科学分野 特定助教 福田 輝雄
	役 職 氏 名	外科系講座 整形外科科学分野 助教 角谷 賢一郎
授業のテーマ	BSL (bed side learning) において診療に参加する前に、スチューデントドクターとして最低限必要とされる基本的臨床技能と感染制御・医療安全の知識・技能を学修する。	
授業の到達目標	BSL (bed side learning) において患者と接した診察する場合に、最低限必要とされる基本的臨床技能と感染制御・医療安全の知識と技能を修得する。	
授業の概要と計画	(1) 実習 本実習は「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目」を中心とした基本診療実習(1コマ240分)及び外来・中央診療施設における実習(1コマ120分)により構成される。学生は全10班に分かれ、実習にあたり配付される「臨床医学基本実習ガイドライン」に沿った形で、期間中に以下の全13ユニットの実習を行う。 ※「臨床医学基本実習ガイドライン」は、共用試験実施評価機構より毎年配付される「臨床実習開始前の共用試験」を元に作成されます。 ○基本診療(10ユニット) ・医療面接 ・頭頸部診察 ・胸部診察 ・バイタルサイン(血圧測定を含む) ・腹部診察 ・神経系診察 ・BLS・AED ・四肢と脊柱 ・心電図・採血 ・直腸診・尿道バルーン ○外来・中央診療施設(3ユニット) ・手術部(清潔操作実習) ・薬剤部(薬剤業務と臨床試験の実際) ・手指衛生実習	

授業の概要と計画	(2) 講義「医療安全・感染制御」 以下の項目をテーマ(目標)とした講義を行う。 ・医療安全の基本(I)・(II) ・多職種によるインシデント報告 ・全職員で取り組む医療安全 ・薬剤に関する医療安全の基本と事故防止 ・院内感染対策の基本 ・標準予防策と感染経路別予防策 ・抗菌薬の適正使用 ・ワクチンによる個人免疫効果と集団免疫効果 ・アウトブレイクと危機管理 ・医療事故防止・発生時の対応 ・医療機器とは何か?—医療機器に関わる基礎から取扱いルールについて— ・チーム医療と職種間コミュニケーション ・インフォームドコンセントとコミュニケーション ・Team STEPPSについて ・臨床倫理
成績評価方法	BSL(bed side learning)において患者と接した診察する場合に、最低限必要とされる基本的臨床技能と感染制御・医療安全の知識と技能を修得しているか。 全実習ユニットに出席・合格することを必須とし、医療安全・感染制御講義で実施する試験に合格した者に対し、3単位(合格)を与える。
成績評価基準	①全実習ユニットに出席し、基本的臨床技能が身についているかを実習担当教員が合否判定する。 ②医療安全管理教育の筆記試験を行う。60点以上を合格とする。
履修上の注意 (関連科目情報)	実習については、各ユニットにつき1回しか実施しないため、あらかじめ実習内容を予習しておくこと。
事前・事後学修	実習については、各ユニットにつき1回しか実施しないため、あらかじめ実習内容を予習しておくこと。また、実習終了後も共用試験OSCE教育・学習用DVD(ストリーミング視聴)等で自主練習を入念に行うこと。
オフィスアワー・連絡先	本授業に関する問い合わせは、医学科教務学生係に連絡してください。 時間：平日8:30～17:15 E-mail：kyomu1@med.kobe-u.ac.jp TEL：075-382-5205
学生へのメッセージ	BSLに臨むにあたって必須の学修事項ばかりです。基本中の基本なので、しっかり取り組んでください。
今年度の工夫	医療安全管理教育の出席必修化、筆記試験の合格基準を明確にしました。
教科書	・臨床実習開始前の「共用試験」第18版(令和2年)(予定) 発行：公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO) ・共用試験OSCE教育・学習用DVD(ストリーミング視聴)
参考書・参考資料等	特になし
授業における使用言語	日本語
キーワード	
参考URL	

科目名：地域社会医学実習（1単位）

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療教育学部門 特命教授 岡山 雅信
	連絡方法	TEL: 078-382-6732 E-mail: dcme@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療教育学部門 特命助教 八幡 晋輔
	役 職 氏 名	医学教育学分野 医学教育学部門 特命教授 河野 誠司
	役 職 氏 名	医学教育学分野 医学教育学部門 特命教授 石田 達郎
	役 職 氏 名	医学教育学分野 医学教育学部門 特命講師 小林 成美
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命教授 見坂 恒明
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命助教 隈部 綾子
授業のテーマ	訪問看護・訪問診療の専門職種および利用者との関わりを通して、将来、医師としてこれら専門職と地域で働くための態度や基本的知識を身につけます。また、保健・福祉・介護サービスに関する現状、医療との関係、解決すべきことなどを学びます。さらに、他施設での実習結果を報告会で共有し、これらの学習した内容を深めることを目的とします。	
授業の到達目標	・地域包括ケアシステム概念を理解し、地域における、保健(地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間および多職種間(行政を含む)の連携の必要性について説明できる。 ・在宅療養と施設入所との関係について総合的な考察ができる。 ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できる。 ・かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身につける。 ・在宅医療・訪問看護を体験する。 ・地域医療に積極的に参加・貢献する必要性を説明できる。	
授業の概要と計画	授業は、講義、実習、グループワーク、成果発表の形式で実施されます。 ・講義 - 第1回：実習オリエンテーションについて - 実習の目的・内容・事前連絡・注意事項（特に、身だしなみ等実習に望む態度）等を説明します。 ・実習 - 訪問看護ステーション、診療所等で、予習レポートの学修課題に基づいて、実習を行います。 ・グループワーク - 第1回：実習前に、実習施設の事前学修を行い、学修課題を明確にし、予習レポート作成を作成します。 - 第2回：実習後に、各人の学修内容を共有し、グループ全体で学修内容をまとめ、発表資料を作成します。 ・成果発表 - 発表会において、学修内容のまとめを発表し、質疑を行い、その内容を深めます。	

成績評価方法	平常点評価（講義ならびに実習の理解度等で評価）20%、予習レポート20%、実習担当者による学生評価20%、発表内容20%、実習レポート20%で評価する。
成績評価基準	・実習課題が適切に設定できたか。 ・実習施設での経験を正確に理解できているか。 ・実習施設での経験から適切な気づきを導くことができたか。 ・実習のあと、学びたいことが明確に提示しているか。 ・実習施設での経験が共有され、適切に実習のまとめが発表できたか。 ・地域包括ケアシステム概念を理解し、地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性について説明できるか。 ・在宅療養と施設入所との関係について総合的な考察ができるか。 ・かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力について考察できるか。 ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できるか。
履修上の注意 (関連科目情報)	特にありません。
事前・事後学修	参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。
オフィスアワー・連絡先	メール(dcme@med.kobe-u.ac.jp)にて随時受け付けます。
学生へのメッセージ	
今年度の工夫	
教科書	授業時に資料を配付する。
参考書・参考資料等	地域医療学入門（日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会監修、診断と治療社、2019、ISBN978-4-7878-2384-7）
授業における使用言語	
キーワード	地域医療、総合診療、在宅ケア、地域包括ケアシステム、訪問看護、多職種協働
参考URL	

地域医療活性化センター多目的研修室等 授業科目名（地域社会医学実習）

週	月 日 (曜)	時 間	講 義 題 目 ・ 実 習 題 目	担当
2	1月5日 (火)	9:00～10:30 10:40～11:40 13:20～15:30	実習オリエンテーション 講義：在宅ケア・訪問看護の現状など 小グループ学習：施設の事前学習および予習レポート作成	河野・岡山 河野・岡山
2	1月6日 (水)	9:00～12:20 13:20～16:40 (時間は目安)	各実習施設にて実習	
2	1月7日 (木)	9:00～12:20 13:20～16:40 (時間は目安)	各実習施設にて実習	
2	1月8日 (金)	9:00～12:20 13:20～16:40 (時間は目安)	各実習施設にて実習	
3	1月12日 (火)	9:00～12:20 13:20～16:40 (時間は目安)	各実習施設にて実習	
3	1月13日 (水)	9:00～12:20 13:20～16:40 (時間は目安)	各実習施設にて実習	
3	1月14日 (木)	9:00～12:20 13:20～16:40	小グループ学習：実習のまとめ・発表資料作成 グループ発表と討論	河野・岡山 河野・岡山

科目名：医学研究（２）（４単位）

区 分	内 容
担当教員	各教育研究分野教員
授業のテーマ	1年次の新医学研究コース、2年次の基礎配属実習に続き、長期にわたって研究を行うことを希望する学生を対象として、3年次、4年次、5年次、6年次にそれぞれ医学研究（１）、医学研究（２）、医学研究（３）、医学研究（４）の４科目を選択科目として設定している。この科目は、学生の希望に基づいて基礎系、臨床系を問わず各教育研究分野に学生を配属させ、高いレベルの医学研究に従事するものとする。
授業の到達目標	到達目標は、配布する「医学研究要項」に分野別に記載する。
授業の概要と計画	教育研究分野の指導教員と相談のうえ、各分野の研究テーマに基づき実験、研究を行う。研究テーマは、配布する「医学研究要項」に分野別に記載する。
成績評価方法	① 1単位あたり30時間の実習従事時間を満たさなければならない。したがって医学研究（１）、（２）、（３）、（４）それぞれ、120時間、120時間、120時間、120時間を最低実習従事時間数とする。履修者は必ず実験ノートに実習内容と実習従事時間を記載し、定期的に指導教員は実験ノートをチェックし、実験内容と実習従事時間数を確認する。なお指導教員等の指導が得られる場合、週末、長期休暇等の実習も履修時間とみなす。 ② 医学研究（１）については3年次後期末までにA4 2枚以上の「研究論文」を作成し指導教員に提出する。医学研究（２）、（３）、（４）については、それぞれ4年次後期末、5年次後期末、6年次後期末に各分野で発表しなければならない。 ③ 評価は指導教員が期間中の学習態度、研究論文、発表等を総合して判定する。
成績評価基準	各教育研究分野で定めた到達目標により評価する。
履修上の注意 （関連科目情報）	配属を希望する教育研究分野の指導教員に内諾を得たうえで、決められた期限内に所定の申請書を学務課医学科教務学生係に提出する。
事前・事後学修	基礎配属実習に引き続いて、長期にわたって研究を行うことができます。
オフィスアワー・連絡先	各分野の連絡先は配布する「医学研究要項」、「基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成プログラム」ホームページにて確認ください。
教科書	進める研究内容に合わせて、必要ある場合は、個別にお知らせします。
参考書・参考資料等	進める研究内容に合わせて、必要ある場合は、個別にお知らせします。
授業における使用言語	日本語
参考URL	http://www.med.kobe-u.ac.jp/kiso

科目名：IPW（1単位）

項 目 名	内 容
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 名 内科系講座（薬剤学分野） 教授 矢野 育子
	連絡方法 TEL: 078-382-6640 E-mail: iyano@kobe-u.ac.jp
担当教員	役 職 名 地域社会医学・健康科学講座（医学教育学講座） 特命教授 河野 誠司
	役 職 名 微生物感染症学講座（感染症治療学講座） 准教授 大路 剛
	役 職 名 地域社会医学・健康科学講座（医学教育学講座） 特命講師 小林 成美
担当教員 (学部外)	役 職 名 神戸大学医学部保健学科 教授 千葉 理恵
担当教員 (学外)	役 職 名 神戸薬科大学薬学部 教授 坂根 稔康
授業のテーマ	医学科、保健学科、神戸薬科大学学生とともに学習してきたIPWの総合的な力をつける科目として位置づけられる。 専門職としての役割を果たしながら、疾患や障がいをもつ人(患者・当事者)とその家族に対して安全で安心かつ質の高い医療・ケアを行うための、チームとしての協働を実践的に学ぶ。
授業の到達目標	専門領域の異なる学生メンバー間で目標を共有し、ディスカッションを行い問題解決の過程を体験的に学習することを通して、自己・他者の専門性を尊重し、相互理解を深め、チームで協働することの意義を理解することを目指す。 1. チーム内で情報を共有できる。 2. 関連する他の保健医療職の視点、専門性や役割を理解することができる。 3. 問題・課題に関連した臨床的知識を理解することができる。 4. 患者ケアについて医学的視点にとどまらず全人的(ホリスティックな)視点で考えることができる。 5. リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、チームとして建設的なディスカッションを進めることができる。 6. 他の職種と連携・協働してチーム医療を行うことの重要性を理解することができる。 7. 学習経験を振り返り(リフレクション)、次の行動(アクション)の準備ができる。
授業の概要と計画	1. 医学科、保健学科、神戸薬科大学の異なる専攻からなる学生混成グループで、提示されたシナリオを基にチュートリアルに取り組む。 2. 本科目は、12月中に集中して行う。 3. チュートリアル2回とレクチャー2回、グループ学習、自己学習を通して学習を深め、グループ発表会で学習を共有する。学生は13グループずつの3組(A, B, C組)合計39グループに分かれ、組毎に時間差で教室を利用し学習を進める。 *詳細は別途配布するIPW演習要項参照のこと 令和2年は11月30日(月)から12月4日(金)に実施予定。 月曜日：アイスブレイク、1回目チュートリアル、グループ学習 火曜日：1回目レクチャー、グループ学習 水曜日：2回目チュートリアル、グループ学習 木曜日：2回目レクチャー、グループ学習 金曜日：グループ学習、まとめ、グループ発表
成績評価方法	月曜日、水曜日の各教員によるチュートリアル取組に関する評価：40%、学生ピア評価：20%、授業への参加度(授業中の発言など)：40%
成績評価基準	1. チーム内で情報を共有できているか。 2. 関連する他の保健医療職の視点、専門性や役割を理解できているか。 3. 問題・課題に関連した臨床的知識を理解できているか。 4. 患者ケアについて医学的視点にとどまらず全人的(ホリスティックな)視点で考えるできているか。 5. リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、チームとして建設的なディスカッションを進めるできているか。 6. 他の職種と連携・協働してチーム医療を行うことの重要性を理解できているか。 7. 学習経験を振り返り(リフレクション)、次の行動(アクション)の準備ができているか。
履修上の注意 (関連科目情報)	この科目は、保健学科における1年次から4年次までの共通特論科目、すなわちIPW教育科目の最終科目となる。 IPW教育の原理原則：「人としての相互尊重を基盤にしてお互いが学習の場をともにし、お互いからお互いについて学び合うことである」ことを意識して積極的な知の相互作用を期待する。 【関連科目】初期体験実習
事前・事後学修	事前学修：これまでの講義や病院実習で学んだチーム医療について、自分の考えも含めて整理すること。 事後学修：グループ発表の内容を見直し、自分たちと違う意見やコメントを確認し、学びを共有すること。
オフィスアワー・連絡先	本授業に関する問い合わせは、医学科教務学生係に連絡してください。 E-mail: kyomul@med.kobe-u.ac.jp TEL: 075-382-5206
学生へのメッセージ	本科目では、複数の専攻学生とともに、シナリオの当事者の視点から問題解決をしていく過程を学習します。重要なのは、自己に気づき、他者を尊重し理解しようとする関心です。グループメンバー間の積極的な関わりを通して学びを深め、インタープロフェッショナルな専門職へ成長する基盤にしてください。
今年度の工夫	各専門領域の学生がより協働できるように、シナリオの内容を工夫している。
教科書	特に指定しない。
参考書・参考資料等	適宜配布する。
授業における使用言語	日本語
キーワード	多職種協働、チーム医療、患者中心、実務